



セカンドオピニオン

住友商事株式会社

2025年3月31日

グリーン・シローン

第68回無担保社債(第3回グリーンボンド)

サステナブルファイナンス本部

定期モニタリング

担当アナリスト: 新井 真美

格付投資情報センター(R&I)は住友商事の依頼に基づき、住友商事が策定したサステナブルファイナンス・フレームワークに従って以下のローンおよび債券の調達資金の充当やレポーティングを実施していることを確認した。

■評価対象

資金調達者	住友商事株式会社
ローン名称	シンジケーション方式タームローン(グリーン・シローン)
発行額	200億円
発行年月	2024年12月14日
償還期限	2031年12月14日

資金調達者	住友商事株式会社
債券名称	第68回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(第3回グリーンボンド)
発行額	200億円
発行年月	2025年2月20日
償還期限	2030年2月20日

1. 調達資金の使途

調達資金はフレームワークに示された適格クライテリアを満たすプロジェクトに充当されている。

■フレームワークに定めた適格クライテリア(グリーンのみ抜粋)

事業区分	適格クライテリア
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風力発電 ・ 太陽光発電 ・ 地熱発電(直接排出量が 100g-CO₂/kWh)を下回るもの ・ 電力システムの安定化に貢献する系統蓄電事業
生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	住友商事グループの森林経営方針に基づく森林資産の取得や森林資産の活用・維持
クリーン輸送	都市旅客鉄道の運営・保守
エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯事業者に対する 5G を中心とした基地局シェアリングサービスの提供に必要な基地局建設及び運営 ・ BELS 評価で 5 つ星を取得済または取得予定の建築物の開発・建設・改修・取得等
持続可能な水資源及び廃水管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上水道事業 ・ 下水道事業 ・ 関連設備、関連パイプライン
グリーンビルディング	<p>以下の認証のいずれかを取得済または取得予定の建築物の開発・建設・改修・取得等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LEED:「Platinum」「Gold」 ・ BREEAM:「Outstanding」「Excellent」 ・ CASBEE 建築(新築・既存・改修)、CASBEE 不動産:「S」「A」 ・ DBJ グリーンビルディング認証:「5」「4」 ・ BCA グリーンマーク認証:「Platinum」「Gold Plus」 ・ HQE:「Exceptional」「Excellent」 ・ DGNB:「Platinum」「Gold」 ・ Green Star:「6-star」「5-star」

2. レポーティング

レポーティングはフレームワークに基づいて実施されている。

(1) 資金充当状況

- ・ 資金充当の状況はウェブサイトを開示されている。資金用途に関して大きな状況の変化はない。

■フレームワークに定めた開示事項

- ・ 事業別の充当額・充当状況
- ・ 未充当額及び充当予定時期、未充当期間の運用方法

■開示した内容

<充当状況>

(億円)

事業区分	グリーン・シローン	第 68 回無担保社債 (第 3 回グリーンボンド)
再生可能エネルギー	0	110
生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	0	0
クリーン輸送	0	0
エネルギー効率	69	0
持続可能な水資源及び廃水管理	0	0
グリーンビルディング	131	90
合計	200	200

- ・ 調達資金の全額につき、上記適格プロジェクトへの充当を完了している。

(2) 環境改善効果に係る指標

- ・ 環境改善効果に係る指標はウェブサイトを開示されている。

■フレームワークに定めた開示事項(グリーンのみ抜粋)

事業区分	レポート項目
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 CO2 排出削減相当量(t-CO2) ・ 設備容量(MW)
生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	取得した森林面積
クリーン輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅数 ・ 路線距離
エネルギー効率	<5G 関連事業> 5G 基地局導入施設に関する事例 <BELS 評価不動産> BELS 評価の等級
持続可能な水資源及び廃水管理	水処理量(m ³)
グリーンビルディング	認証の種類及び等級

■開示した内容

事業区分	レポート項目 (2024 年 12 月末時点の環境改善効果)
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 CO2 排出削減相当量:313,608t-CO2 ・ 設備容量:333MW
エネルギー効率	BELS 評価 5 つ星(ZEB Ready): 3 件
グリーンビルディング	<ul style="list-style-type: none"> ・ CASBEE-不動産 S:1 件、A:1 件 ・ CASBEE-建築(新築) A:2 件

以上

【留意事項】

本資料に関する一切の権利・利益（著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、特段の記載がない限り、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、本資料の全部又は一部を使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）することは認められません。

R&Iは、本資料及び本資料の作成に際して利用した情報について、その正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

また、本資料に記載された情報の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報の使用に関連して発生する全ての損害、損失又は費用について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負いません。

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むもの）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。R&Iグリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むもの）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

【専門性・第三者性】

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。また、2022年から経済産業省の温暖化対策促進事業におけるトランジション・ファイナンスの指定外部評価機関に採択されています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esp/index.html>）に開示しています。

R&Iは2022年12月、金融庁が公表した「ESG評価・データ提供機関に係る行動規範」（以下、「行動規範」という。）の趣旨に賛同し、これを受け入れる旨を表明しました。行動規範の6つの原則とその実践のための指針へのR&Iの対応状況についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esp/index.html>）に開示しています（以下、「対応状況の開示」という。）。

R&Iと資金提供者及び資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。

なお、R&IはESGファイナンスによる資金提供あるいは資金調達を行う金融機関との間で、金融機関の顧客にR&IのESGファイナンス評価を紹介する契約を締結することがありますが、R&Iは、独立性を確保する措置を講じています。詳細は対応状況の開示をご覧ください。